

「人権のつどい」を開催しました

〈田布施町人権教育推進大会〉

11月23日(金・祝)午後1時30分から西田布施公民館で人権のつどいを開催しました。例年、田布施町では、田布施町人権教育推進大会を11月の最終土曜日に開催していますが、今年は同大会を「人権のつどい」と同時に開催しました。



「人権のつどい」は、山口地方事務局周南支局管内の3市3町が順に開催地となり、全国中学生人権作文コンテストの表彰・作品発表や記念講演等人権啓発に関する大会を行うものです。山口地方事務局周南支局と田布施町・田布施町教育委員会、周南人権擁護委員協議会、周南人権啓発活動地域ネットワークの主催で行われた今年の大会で

は、会場となった西田布施公民館におよそ250人の参加がありました。

「人権のつどい」では、第32回全国中学生人権作文コンテストの表彰等があり、木村友美さん(平生中学校第2学年)が受賞者17人を代表して、周南支局長から表彰状を受けられ、飛渡友希さん(田布施中学校第3学年)が作文の発表を行いました。続いて「田布施町人権教育推進大会」では、西村茉紘さん(田布施西小学校第3学年・写真上)が代表して町長から表彰を受けました。また、北村優衣さん(田布施中学校第3学年)が詩の朗読を行いました。両作品とも人権に関する思いの込められた作品で、客席からも自然と拍手が起きました。

表彰や作品の発表など式典行事の後、アトラクションとして「たぶせ少



年少女合唱団」のみなさんの合唱が行われました。田布施町歌や独自の振り付けを加えた歌の数々は、かわいい衣装とあいまって会場の拍手を誘いました。

また、記念講演では、チベット出身の音楽家バイマーヤンジンさんに「家族のきずな 幸せのかたち」と題して、講演をされました。チベットの紹介やご自身の出身地の案内、違う民族に属することで差別を受けた学生時代、また縁があつて日本人の男性と結婚したことなど、ご自身の体験に基づくさまざまなお話などユーモアを交えて講演され、80分がとて短く感じられました。最後にご披露いただいたチベットの民



心のこもったバイマーヤンジンさんの講演

謡は、澄んだ声にさわやかな気持ちに包まれる感じがしました。講師のバイマーヤンジンさんの人柄が身近に感じられた時間を過ごし、会場の皆さんも家族のあり方、国際的な視点をもった人と人とのつながりについて改めて考える良い機会となりました。

※今月の「マナビイ」はお休みします。

田布施町郷土館 来館者10万人を達成

田布施町郷土館は平成元年11月3日に開館して以来、11月18日(日)来館者が10万人に到達しました。

田布施町郷土館は、先人の偉業・遺徳を偲ぶとともに、町内で確認された古墳・遺跡からの出土遺物や、民俗資料等の文化遺産の展示を通して、郷土の歴史と文化に対する理解を深め、町民文化の向上と次代を担う青少年への励ましの糧に資することを目的として設置されました。

10万人目の来館者となられたのは、同日午後、旅行会社のツアーで来館された須藤照美さん(大分県玖珠郡九重町)で、曾我館長から記念品を送られ同じツアー客のみなさんから祝福を受けていました。

☎社会教育課 ☎52-5813



第151回

サークルウォッチング 押し花教室

城南公民館



今回は、来春、開講20年目を迎える城南の押し花教室を訪ねました。

教室は、月に1度、城南公民館の2階で開かれており、そこには家のまわりに咲いている自然の草花から、ご自宅で育てられた季節の花々まで、沢山の種類の材料が広げられています。それらを組み合わせ、思い思いの作品を作り出していきます。今回は、葉書サイズの額縁に青染めした花々とクロロパーをあしらった可愛らしい作品を作っておられました。

「月に1度の教室で、一つの作品が完成するようにしています。毎月の教室が待ち遠しいです。」「月日が経って色が褪せても、それはそれでまたいい色を出しますよ。」「できた作品を沢山の方々に見ていただくことがとても楽しみです。」「みなさん、ご自分の作品にとっても愛着を持ってもらえました。」

作品は、年に1度の公民館まつりで、地域の方々にお披露目されています。公民館まつりで展示を終えた作品は、これま



でお世話になった方々にプレゼントされるとのこと。「ありがとう」と、笑顔でお礼を言われることで、次の作品への創作意欲が湧いてくるそうです。

押し花に興味がある方、是非城南公民館を覗いてみてください。数々の素敵な作品と、賑やかな教室のみなさんが出迎えてくださいますよ。

■講師 村本 敏子

■日時 毎月第1火曜日

午後1時〜午後4時

■場所 城南公民館 講座室

■代表者 光井 静子

☎52-1841